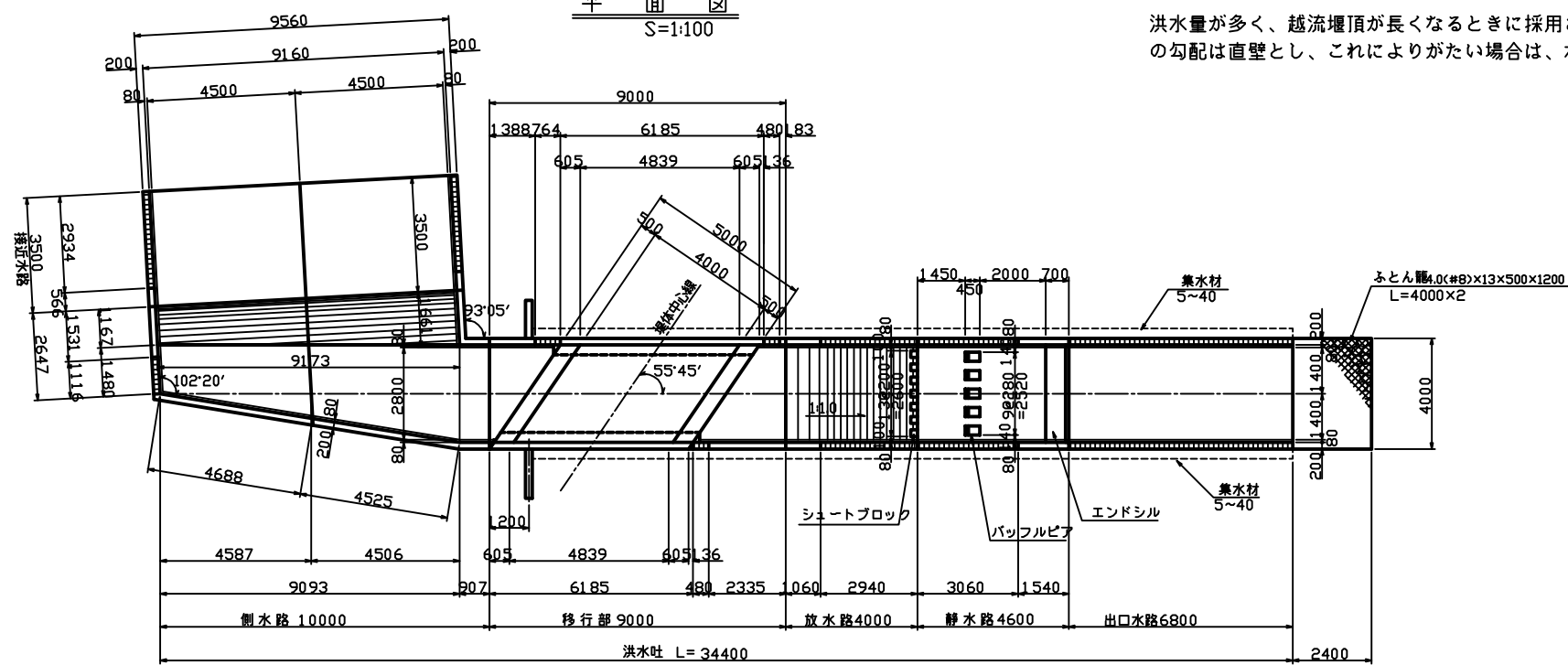


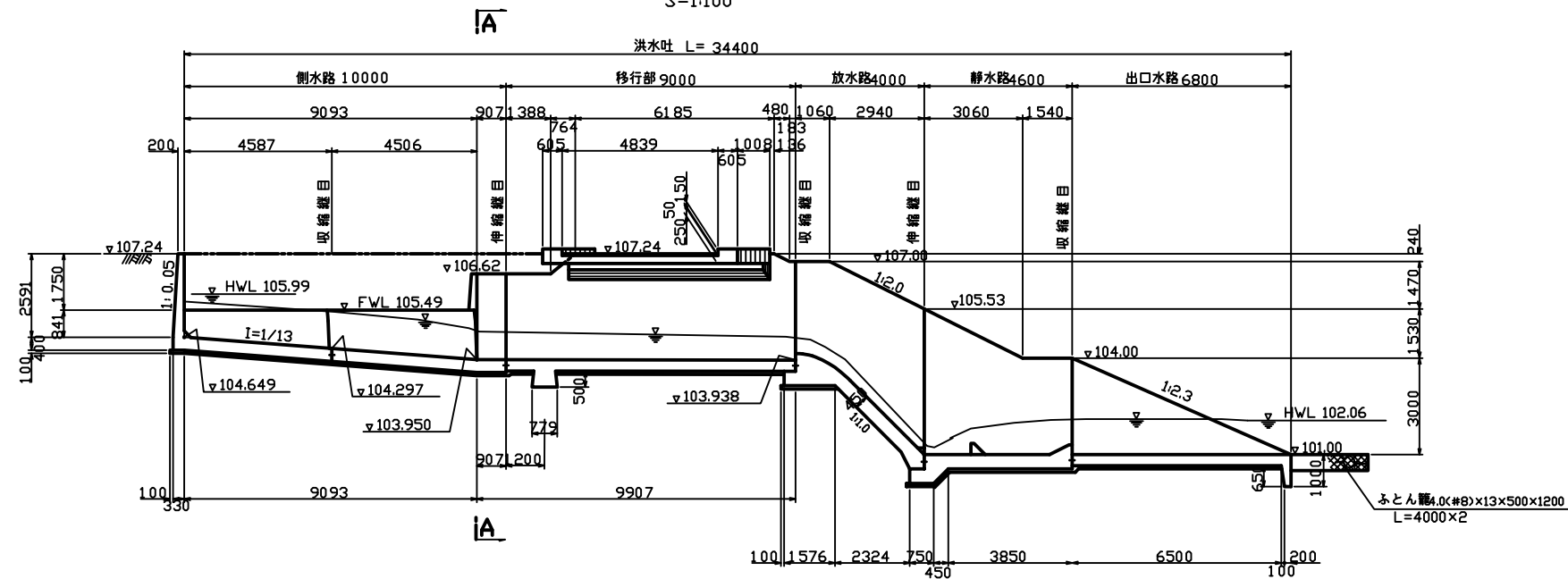
側水路式

平面図
S=1:100

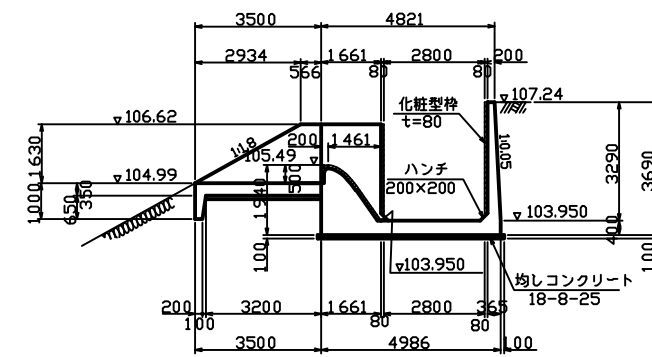


洪水量が多く、越流堰頂が長くなるときに採用される形式である。一般には側水路の越流側の勾配は1:0.7 対岸（通常山側）の勾配は直壁とし、これによりがたい場合は、水理実験等で、流況の安全性を確認する事が定められている。

縦断面図
S=1:100



A - A
S=1:100



この例は、公園内の施設であったため、水路内壁は化粧型枠で、越流堰頂部は鋪石を使って化粧を施している